



## 2017-2018 FIM世界耐久選手権シリーズ(EWC)最終戦 “コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第41回大会 Team SuP Dream Honda参戦体制

7月26日(木)～29日(日)、三重県・鈴鹿サーキットにて行われる「2017-2018 FIM世界耐久選手権シリーズ最終戦 “コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第41回大会」(以下、鈴鹿8耐)への参戦体制が決定しました。

今シーズン、Team SuP Dream Hondaはエースライダーに山口辰也選手を迎え、全日本選手権開幕戦もてぎと第2戦鈴鹿に参戦。実戦を通じてマシン開発を進めてまいりました。

鈴鹿8耐では山口選手に加え、全日本J-GP2を戦う同郷のライバル同士である岩戸亮介・作本輝介両選手を起用し、豊富なレース経験を持つ山口選手の安定した速さ、全日本で連続して表彰台にのぼり、調子の良さを披露するふたりの若いパワー、さらにHondaを取り巻くパーツサプライヤー18社のチームの総合力で、「トップ10トライアル」への進出と6位以上の入賞を目指します。

### <ライダーのコメント>

●山口辰也 Tatsuya Yamaguchi (1976年2月11日生/埼玉県出身)  
『全日本J-GP2で活躍する若いふたりと組むことになりました。ふたりとも表彰台に立ち続けていますし、調子がいい。ラップタイムも速いし、それでいて落ち着いて戦っています。その勢いをキープしたまま8耐本番までつなげていければと思っています。僕の役割は、まずはポテン

走行を前に揃った3人(左から 岩戸亮介、山口辰也、作本輝介)

シャルが高く、バランスが取れた、乗りやすいバイクに仕上げる。若いふたりが乗りやすいバイクに仕上がれば、良いタイムをキープしたまま8時間を走り続けることができ、自ずと結果も付いてくると思います。もちろん僕も良い戦いをしたいです。僕自身、鈴鹿2&4以来ほとんど1000ccに乗っていませんが、ふたりに遅れを取らないよう、ずっとトレーニングを続けてきました。3人が揃うテストで力を出し合ってバイクを仕上げ、本番レースを迎えたいと思います』

●岩戸亮介 Ryosuke Iwato (1997年8月15日生/福岡県出身)  
『昨年は別のチームから鈴鹿8耐に出場させていただきました。あれから1年経ち、全日本選手権のJ-GP2でも常に勝ちを目指して走っていますから、高いモチベーションがありますし、自分の乗り方も変わってきていると思います。事前テストで初めてSuPのCBRに乗らせていただき、昨年の8耐でマークした自己ベストを更新することもできています。セッティングが出ればさらに速く走ることができるはず。ここからの3週間で3人の力を合わせ、マシンセッティングを煮詰め、良い成績を残すことができるマシンに仕上げていきたいと思っています』。

●作本輝介 Kousuke Sakumoto (1996年12月15日生/鹿児島県出身)  
『SuPのCBRどころか、1000ccのバイクに乗ったことさえほとんどない状態でしたが、乗ることをすごく楽しみにしています。鈴鹿8耐で良い成績をおさめるには限られた時間を有効に使い、3人の乗り方に合ったマシンを作ることが必要です。また、鈴鹿8耐は何かあるかわからないレースですから、どれだけデータを多く蓄積できるかも大切だと思っています。僕自身はマシンに慣れ、安定して良いタイムを刻みながら周回できるようになることが最初の目標。そして大先輩である山口選手、ライバルである岩戸選手と3人で力を合わせて決勝レースで結果を残したいですね』



SuPドリームズのTwitterを始めました。  
フォローして最新情報のゲット、  
そして応援Tweetをお願いします!



@79\_SuP\_Dream

# 79 SuP Dream Honda



※お断り: 現在掲載の各サプライヤーのロゴマークは、発行時点のものです。Team SuPプロジェクトに賛同する協力サプライヤーが増えた場合は随時ロゴが増えていきます。